

序

筆者紹介

1	相対性理論の発展	P・G・バーグマン	一
2	宇宙論	D・W・シアマ	二六
3	重力波	J・ウエーバー	三六
4	ブラック・ホール	R・ペンローズ	四〇
5	架空対話篇…ブラック・ホール	J・A・ホイラー	七六
6	物理的実在の量子力学的記述は完全と考 えられるか?	N・ローゼン	八六
7	統計力学へのアインシュタインの寄与	江 沢 洋	一〇六
8	特殊相対性理論の歴史	A・I・ミラー	一三九
9	科学理論の形成に関するアインシュタイ ンのモデル	G・ホルトン	一六四
10	アインシュタインにおける理論的概念の		

	取り扱い	B・カニツシャイダー	三三
11	物理学・哲学・政治におけるアインシュ タインの重要性	C・F・フォン・ワイツェッカー	二四六
12	アインシュタインとシオニズム	B・ホフマン	二六七
13	一般相対論と重力の学会 ——その誕生と役割——	A・メルシエ	二八二
14	アインシュタインの思い出 ——一九〇八年から一九三〇年まで——	W・ゲルラッハ	三〇三
15	回想のマーサー・ストリート	J・A・ホイラー	三四
16	アインシュタイン——学者の世界の周辺	W・ユールグラウ	三四
	訳者あとがき			三五
	注と文献			7
	人名索引			1